

令和7年度の主な事業報告

社会福祉法人 霞 会

社会福祉事業

各事業の活動報告

法人設立から21年目を迎え、自主事業の特別養護老人ホームふるさととは20年目、デイサービスセンターふるさととは19年目を迎えることができました。

令和7年度におきましては、新型コロナウイルス感染症の発生はありましたが、職員一丸となって感染防止対策の徹底に努めた結果、大きなクラスターの発生には至らず、いずれも軽症の方で済む状況となりました。引き続き、感染症に対する危機意識を持ち、予防と早期対応に努めてまいります。

また、令和7年度も引き続き物価高騰や最低賃金の上昇などにより、運営を取り巻く環境は厳しい状況が続きました。そのような中、経費見直しの一環として厨房委託業者の再選定を行い、サービスの質を維持しながらコスト削減を図りました。あわせて、物価高騰に対する各種対策を講じ、収支バランスの改善と安定した事業運営に努めた一年となりました。

今後も社会情勢の変化に柔軟に対応し、健全な法人運営と利用者サービスの向上を目指して取り組んでまいります。

法人本部

監事監査 ・ 5月22日 村田監事、星野監事による監事監査

理事会・評議会 ・ 6月 4日 理事会 ・ 報告事項1～2号
監事監査報告について・社会福祉充実残額について
・ 議案1～5号
令和6年度事業報告・決算報告について
任期満了に伴う理事及び監事の候補選出
任期満了に伴う評議員の推薦について
令和7年度第1回評議員会開催について
・ 6月19日 理事会 ・ 第1号議案
理事及び監事の就任承諾 理事長及び業務執行理事の選出

- ・ 8月 4日 理事会 ・ 第1号議案
 運転資金の借入について

- ・ 12月24日 理事会 ・ 報告事項1号
 技能実習生の採用について
 議案1～3号
 令和7年度上期事業報告について
 令和7年度上期決算報告について
 厨房委託業者の選定について

- ・ 令和8年3月13日 理事会 ・ 報告事項1号
 令和7年度社会福祉施設一般検査・介護保険
 施設運営指導の結果について
 議案1～5号
 令和7年度収支補正予算について
 令和8年度事業計画について
 令和8年度収支予算について
 法改正による経理規定の改正について
 令和7年度第2回評議員会開催について

- ・ 6月19日 評議員会 ・ 報告事項1～3号
 監事監査について・社会福祉充実残額につ
 いて
 議案1～4号
 令和6年度事業報告・決算報告について
 任期満了に伴う理事及び監事の選任
 任期満了に伴う評議員の就任承諾について

- ・ 令和8年3月30日 評議員会 ・ 報告事項1～4
 技能実習生の採用について
 令和7年度一般検査・介護保険施設運営指導
 の結果について
 経理規定の変更について
 厨房委託業者の変更について
 議案1～3号
 令和7年度収支補正予算について
 令和8年度事業計画について
 令和8年度収支予算について

- ・ 6月6日 評議員選任解任委員会
 任期満了に伴う評議員の選任(案)について

借入金返済状況

常陽銀行の借入金においては毎月、利息及び元本の返済を滞りなく行っています。

役員人事

令和7年度は新たに理事、監事、評議員の改選を行い、前任の通り、理事6名・監事2名・評議員7名の就任となりました。

利用状況

特別養護老人ホーム ふるさと

令和7年度年間要介護度別入居状況〔延べ人数〕

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	35	73	77	53	238
女	1	19	114	139	72	345
計	1	54	187	216	125	583

(年度末時点での有効な要介護度より算出しています)

令和7年度介護度別平均年齢・平均介護度

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計平均年齢	平均介護度
男		74.09	84.95	86.11	84.43	83.61	2.8
女	91.33	86.09	89.71	92.88	89.20	90.69	3.3
計	91.33	78.31	87.86	90.47	87.18	87.80	3.1

特別養護老人ホーム ふるさと(短期入所生活介護含む)

《 処 遇 》

ご利用者様個人の生活スタイルを大切に、その人らしく生活することができる環境づくりに努めると共に、家庭でのあたりまえの生活をあたりまえに行うようユニット運営を行ってまいりました。

：行事

季節の行事、伝統行事を大切に、施設全体・各ユニットでの行事として行いました。

全体行事： 新型コロナウイルス感染症の影響により中止、各ユニットにて敬老会
ふるさと祭りを行いました

ユニット行事： 七夕 クリスマス会、施設外周の散歩、その他ユニットクッキング

：ボランティア・慰問

俳優 野村 将希 氏 11月17日慰問活動(野村体操・写真撮影等)

：研修・勉強会

(外部研修・老施協災害対策委員会、次世代委員会、全国社会福祉法人経営青年会への参加)

外部研修・4月17～18日 県老施協災害対策委員会視察研修 1名

・5月20日 経営青年会第1回講演会 2名

・6月12日～13日 関東ブロック老施協研究大会 1名

・6月19日 土浦地区給食研究会 1名

・7月17日 介護職員等合同入職式 4名

・7月25日 安全担当者・虐待・BCP研修 2名

・9月17～19日 社会福祉法人経営者協議会全国大会 1名

・10月14日 DX研修 1名

- ・10月9～10日 経営青年会視察研修 1名
- ・10月17日 経営協北関東ブロック研修 1名
- ・10月27日 多職種連携研修 2名
 - ・11月4～5日 全国経営青年会 全国大会 2名
 - ・11月11日 茨城県介護フェス 4名
 - ・11月26日 虐待防止フォーラム 1名
 - ・12月9日 安全運転管理者研修 1名
 - ・12月11日 経営青年会セミナー 2名
- ・1月26～27日 経営協北関東ブロック災害企画委員会研修 1名
- ・1月28日 地域課題解決研修 1名
- ・2月4日 川井会計勉強会
- ・2月12～13日 経営青年会関東ブロック研修会 2名
- ・2月20日 経営青年会セミナー 2名
- ・3月2日 経営協後期セミナー 1名
- ・3月2日 生産性向上セミナー 3名
- その他、介護職員等特定従事者研修1名、

- 行事
- ・デイサービス シルバーリハビリ体操第2、4水曜開催
 - 9月、3月地域密着型デイサービス運営推進会議を開催
 - ・5月 5日 入居検討委員会
 - ・8月12日 防災訓練（垂直避難訓練）
 - ・8月18日 入居検討委員会
 - ・8月26日 健康診断
 - ・9月12日 各ユニット・デイサービスにおいて敬老会
 - ・10月23日 ふるさとまつり
 - ・10月29日 BCP訓練（災害）
 - ・12月8日 防災訓練
 - ・2月10日 防災訓練
 - ・3月16日 夜勤者健康診断
 - ・3月24日 防災訓練

職員入職・退職 R7、4月1日～R8、3月3日 入職者 6名（正職員1名、パート6名）・
 技能実習 2名
 退職者 12名（正職員7名・パート職員5名）

（勉強会・内部研修）

オンラインでの各種法定研修、BCPの策定研修 外部講師（烏野猛先生）
 事業計画研修（施設内研修 施設長）
 動画での各自研修とした

短期入所生活介護

短期入所生活介護（介護予防含む） 令和7年度要介護度別利用状況

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
利用者数	男	0	0	5	9	21	24	31	90

	女	0	0	11	55	166	99	8	339
	計	0	0	16	64	187	123	39	429

短期入所生活介護（介護予防含む） 令和7年度要介護度別平均年齢

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男			91.52	84.69	81.45	77.11	76.31	79.40	1.7
女			87.33	89.87	90.30	90.78	80.76	90.05	3.3
計			88.64	89.14	89.30	88.11	77.22	87.81	2.8

デイサービスセンター ふるさと

デイサービスセンターふるさとは、開設から19年目を迎え、地域に根ざした通所介護事業所として、利用者一人ひとりの尊厳とその人らしい生活を大切にしながら、地域介護の拠点となるべく事業運営を行ってまいりました。

令和7年度におきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症をはじめとする各種感染症への対策を徹底し、ご利用者および職員が安心して過ごせる環境整備に努めました。日常的な健康観察、手指消毒や換気の徹底、施設内環境の衛生管理を継続的に行い、感染予防意識の維持・向上を図りました。

また、サービス内容の充実を目的として、外部講師を招聘したりハビリ体操を定期的を実施し、身体機能の維持・向上に取り組みました。専門的な視点を取り入れることで、利用者の意欲向上や身体活動の活性化につながり、好評を得ることができました。さらに、外部ボランティアの受け入れを積極的に行い、レクリエーションや交流の機会を通じて、日常生活に楽しみと変化を感じていただけるデイサービスづくりを進めました。

〔処遇・行事〕

処遇面においては、ご利用者一人ひとりの生活歴や価値観、ご希望を尊重し、個別性に配慮した支援を心がけました。職員間での情報共有を密に行い、心身の状態に応じた声かけや活動内容の調整を行うことで、安心して過ごしていただける環境づくりに努めました。

行事につきましても、令和6年度の取り組みを踏まえ、画一的な内容にとどまらず、利用者の嗜好や体調に配慮した内容を検討・実施しました。季節感を大切にしながら、無理のない参加形態を工夫することで、多くの利用者楽しんでいただくことができました。

今後も、地域に信頼されるデイサービスとして、感染症対策をはじめとした安全管理を徹底しつつ、質の高い介護サービスの提供に努め、利用者の皆さまが笑顔で過ごせる場づくりを継続してまいります。

通所介護（介護予防含む）令和6年度要介護度別利用状況

		事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
利用者数	男	-	-	-	491	226	478	184	-	1404
	女	26	120	171	485	449	293	133	25	1677
	計	26	120	171	976	675	771	317	25	3081

【活動報告】

- ・ひとりひとりに合った活動内容、体調に合わせた活動を提供しました。
- ・創作活動...毎月のカレンダー作成 貼り絵 塗り絵 他
- ・脳トレプリント...計算問題 パズル 文字 間違い探し 他
- ・機能訓練...平行棒運動(歩行訓練) 滑車運動 全体リハビリ体操の実施
- ・毎月第2(水)・第4(木)はかすみがうら市シルバーリハビリ体操士による「シルバーリハビリ体操」を実施しました。
- ・作業療法...洗濯物たたみ 昼食準備(テーブル拭き等) ゴミ箱折り・新聞折りなどの作業をお願いする。職員とともに行うことで達成感を得る支援を行いました。
- ・令和7年9月12日(金)敬老の日:「お祝い御膳」「記念品贈呈」
- ・令和7年10月22日(水)・23日(木) 「ふるさとまつりレクレーション」開催
- ・令和7年11月17日(月)「水戸黄門 飛猿 俳優 野村将希さん慰問」
- ・中庭散策...利用者様の体調を確認しながら多くの方が参加、午前・午後に出かける方、「外の風にあたるだけでもいいね」とおしゃべりをされながら外気浴をされました。
夏季(7月~9月)冬季(12月~2月)は休止。
- ・職員によるリハビリ体操は毎日行っています。毎回ほぼ全員が参加されています。脳トレレクレーションなども取り交ぜて、40分程度の交流の時間を設けています。
- ・移動スーパー「カスミ」でのお買い物:毎週(木) 15:45~ 希望者のみ

【自衛消防訓練】

- ・令和7年8月12日(火)自衛消防訓練 「避難訓練」実施
- ・令和7年12月8日(月)14:00~ 「避難訓練」「消火訓練」
- ・令和8年2月10日(金)20:00~ 「非常呼集訓練」
- ・令和8年3月24日(火)14:00~ 「水消火器による初期消火訓練」

【感染症拡大防止への取り組み】 ~安心・安全に利用していただくために~

- ・マスク着用、感染拡大防止への取り組みに大きな変更はありません。
- ・全職員の毎日の検温、「健康観察アプリ LEBER(リーバー)」の活用
- ・職員・利用者様の手洗い 消毒の徹底 ・備品 共用物の消毒とフロア内換気の徹底
- ・利用者の皆様の毎日の検温、体調管理表の活用、密にならない活動
- ・同居家族の健康管理...同居家族に感染者ありの場合は利用休止
- ・状況により、職員・利用者の抗原検査の実施

目標

一人ひとりに寄り添い、温もりある看護を目指す。

多職種と連携・協働により、入居者様・利用者様の健康をささえ、安心して生活が送れるように援助する。

入居者様・利用者様、ご家族様との信頼関係を構築する。

計画

< 1 > 入居者様・利用者様の、日々の健康状態の把握と管理

- ・朝夕の申し送り、多職種随時連絡の取り合いについては、事務所にて毎朝、各ユニットへ朝夕、その他書面（PCほのぼの、各種送りノート）にて実施できた。
- ・健康診断（1回/年）については、8月26日に対象者47名実施できた。
- ・インフルエンザ予防接種については、10月31日36名。重度の副反応なく経過された。
- ・コロナ予防接種については、10月31日、26名実施。インフルエンザと同時接種となったが、重度の副反応なく経過された。
- ・肺炎球菌予防接種についての希望は無かった。
- ・嘱託医往診については、毎週2回、火曜日と木曜日に実施された。
- ・歯科往診については、毎週火曜日に実施された。口腔ケアの充実に向けて指示を頂き、介護職員と共有し介助行った。
- ・作業療法士との連携については、入居者様の情報共有し、リハビリや褥瘡予防に向けて取り組むことができた。
- ・嘱託医指示のもと、採血・受診・検査等の実施については、3ヶ月毎の定期採血の実施、内服薬・疾病・状態の変化により必要な採血を追加し実施することで、健康管理の強化が図れた。
- ・入居者様・利用者様の健康状態と定時薬を把握し適切な服薬ができるよう医師と相談しながら随時見直しを行ってゆくことについては、嘱託医への早期報告や相談にて指示を仰ぎ、調剤薬局と連携を取りながら、内服薬の形状、体調や嚥下機能に応じた対応、調整を行うことができた。
- ・状態変化時、ご本人様・ご家族様への適切な説明、ご本人様・ご家族の意向をふまえた対応を行ってゆくことについては、相談員、他職種と連携を取りながら、ご本人様の意向に沿うよう、早急または随時ご家族様への報告、相談を行い、対応することが出来た。

< 2 > 看取りケアの強化

- ・その方らしく、最期まで自分らしい生活であるために、ご家族様、多職種協働にて随時ケアの見直し、検討にあたることについては、適宜カンファレンスを実施し、看取り介護の指針に沿って実施できた。
- ・延命行為、看取りの意向確認については、入居時に実施し、状態変化時には相談員を窓口で随時行なうことで、ご家族様との共通認識とすることができた。都度、状態報告を行っていくことで、ご家族様と良好な関係を築き、看取り期への移行時も受け入れがスムーズとなり、ご家族様の精神面を支えることができた。
- ・体調不良者及び低栄養、高リスク者の把握については、採血結果、毎月の体重確認、食事摂取状況などから、管理栄養士、介護スタッフと協力し、改善に向けて対策の検討を行い対応できた。

< 3 > 褥瘡ケアの強化

- ・褥瘡ケアマネジメント加算の実施(1回/3ヶ月、必要時には随時)
定期的、または随時、評価・検討を行い褥瘡の予防・改善に努めるについては、3ヵ月毎、状態変化時、褥瘡出現時、退院時など実施できた。入居時には、入居月内に実施できた。

< 4 > 感染症対策の強化

- ・感染症対策委員会の開催については、毎月実施できた。
- ・特に、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス感染症に関する情報の共有、感染予防対策、感染発症時の対策など検討を行い、早期対応に努めた。
- ・年間を通して、職員出勤前の検温の実施については、毎日実施できている。入力を忘れた職員については、都度、入力いただくよう指示を行った。出勤時、退勤時(16時)に検温し入力、休みであれば8時に検温し入力実施。医務にて職員の体温や体調の確認を実施。(9時半、12時半、18時の3回)
- ・年間を通して、職員出勤前のアルコール手指消毒実施については、毎日実施できた。休憩前後、退勤時、ケア前後のアルコール消毒の徹底を呼び掛け実施できた。
- ・感染症流行時期の職員・入居者様・利用者様の受診時のマスク着用については、常時着用とし、実施できた。
感染症流行時期の面会者の手洗い・マスク着用については、手指洗浄・アルコール消毒・サージカルマスク着用とし実施できた。施設内感染症流行期は面会制限を行い対応した。職員感染後の回復期、咳などの有症時にはN95マスク着用し、感染予防に努めた。
- ・感染症流行時期の公用車のアルコール噴霧については、コロナ対策として毎回実施できた。
- ・コロナ対策、感染性胃腸炎対策として、次亜塩素酸ナトリウム0.05%液とした。医務職員が15時にユニットに配布し、感染予防に努めることができた。
- ・情報収集に努め、その他の感染症の流行前からの注意喚起については、コロナウイルスが中心となったが、保健所を中心に、国立感染症センター、職員家族の学校からの通達等、公式な情報収集に努め、会議時に周知できた。

< 5 > 職員の健康管理

- ・健康診断(1回/年)については、8月26日44名、10月1日1名、10月2日1名、10月3日1名、対象者47名全員実施できた。有症者に対し、健康指導を行った。
- ・夜勤従事者(2回/年)については、3月16日に対象者13名全員実施できた。
- ・腰痛問診(2回/年)については、10月に対象職員39名、3月に36名全員実施出来た。
- ・インフルエンザ予防接種については、10月31日、希望者44名実施できた。

< 6 > 看護、介護が連携して充実したケアが行ってゆけるよう、研修等の実施について

- ・相談員主体となり、e ランニング動画による学習、個人でのレポート提出、今年度も同様に実施となった。
- ・利用者様の介護をするにあたり必要な知識(透析・ストマ・膀胱留置カテーテル等)については、必要時、マニュアルを作成しユニットに配布を行った。
- ・感染症対策については、毎月の会議において、感染症流行の動向について周知し、予防対策について指導を行った。
- ・介護職員による痰の吸引等の実地研修については、自施設においては吸引実施回数少ないため、別病院・施設にて実施いただいた。
- ・安全委員会(1回/月)開催については、毎月開催できた。特定の対象者に対する特定行為業務について、実施後の経過報告を行い、安全に実施できた。

まとめとして

今年度は7月に入居者様3名のインフルエンザウイルス感染、R8年1月にショート利用者1名のコロナウイルス感染、2月に入居者1名のコロナウイルス感染がみられた。悪化することなく、施設で過ごされ完治された。インフルエンザについては、県でも異例の大流行となり、職員・職員家族の感染が見られたが、入居者への感染拡大は見られなかった。

職員それぞれが自己管理に努め、体調不良時の早期対応、入居者様の状態把握、感染経路の遮断など適切な感染対策の実施により感染拡大を防止することができた。

褥瘡については、医師、作業療法士との連携により予防または、治療中の方の状態改善を図ることができた。また、褥瘡対策委員会を毎月開催できたことにより、多職種連携が強化され、ケアの向上にも繋がった。

看取りについては、ご本人様の意向に沿った日常生活の援助、安楽への援助、好みのものの提供等を、ご家族様、多職種と連携を取り実施できた。看取り期においては感染対策をとったうえでの面会可能とし、最期の時間をご家族と過ごしていただくことができた。

延命行為、看取りの意向確認については、入居時、状態変化時など、必要時には随時見直すことができた。看取り期には更に詳細な意向を確認し、ご家族様に寄り添い、精神的負担の軽減を図ることができた。延命行為については、ご家族様に助言行い、意思決定への支援ができるよう、職員側が専門的な知識を持ち、さらに見識を高めていく必要がある。

今後も、入居者様、ご家族様に最後まで寄り添い、温かい支援ができる様、多職種連携し取り組んでいきたい。

令和7年度 栄養課事業報告

1. 運営目標 「ごはんがきたよ」から「ごはんができたよ」へ

おいしく楽しんでいただける安全な食事の提供を目指し、季節感のあるメニューをできるだけ取り入れ、栄養バランスの良い食事の提供に努めました。またユニットでの盛り付け・調理の推進に努めました。

家庭での食事と同様に、ユニットでの炊飯、鍋や大皿での配膳、瀬戸物の食器を使用して食事提供をおこないました。また、個々の嗜好やこれまでの食習慣を大切に、できるだけおなじ食生活が継続できるよう、つとめました。

食べる機能に合わせた形態での食事の提供や自助食器の活用により、食事摂取量の維持や自力での食事摂取をすすめました。

10月から、食材料費の高騰による献立内容の見直し、変更をおこないました。

食材費の高騰及び管理費の高騰を受け、完全調理品の使用により、管理費、光熱費を抑える事を前提に、厨房業務の委託業者の選定を行い、次年度以降、(株)ピュア・アイズコーポレーションの決定した。

2. 食事に関するデータ

(令和8年3月31日現在)

○入居者 46名(男性 19名 女性 27名 (うち入院 2名))

年齢	男性	女性
50～64歳	1	0
65～74歳	0	0
75歳以上	17	28
計	18	28

主食形態	実数	割合(%)	副食形態	実数	割合(%)
ペースト粥	7	16	ペースト	4	9
ゼリー粥	1	2	ムース	7	16
全粥	13	30	超きざみ	7	16
軟飯	16	36	きざみ	5	11
常食	6	14	粗刻み	0	0
経管栄養	1	2	一口大	7	16
			常菜	13	30
			経管栄養	1	2
計	44	100	計	44	100

ペースト粥...飲み込みやすいとろみ剤入りペースト粥

ゼリー粥...離水しづらいとろみ剤入り粥

水分とろみ 計11名	濃いとろみ 2名	中間のとろみ 5名	薄いとろみ 4名
------------	----------	-----------	----------

○行事食実施状況

月	日	食	内容
4月	4/13	昼食 (みんなのにちようび)	吉野家特製親子丼 豆苗の清まし汁 青菜と大豆の白和え 黄桃缶
	4/16	昼食	海鮮丼
			豚汁
			南瓜のいとこ煮 キャベツの浅漬け
4/21	15時		スフレロール

		(スイーツコレクション)	
5月	5/5	昼食	オムライス
			野菜スープ
	5/8	15時 (スイーツコレクション)	ほたて風味フライ
			オレンジ
			柏餅
5/26	昼食	うな井	
		柚香汁	
		キャベツの甘酢和え	
		フルーツポンチ	
6月	6/17	昼食	うな井
			みょうがの清まし汁
			さつま芋のレーズン煮
			もずく酢
7月	7/7	昼食	いなり寿司
			一口七夕そうめん
			えびと枝豆のかき揚げ
			バナナ
	7/19	昼食 (土用の丑)	うな井
		みょうがの清まし汁	
		キャベツの浅漬け	
		すいか	
8月	8/18	昼食	うな井
			豆腐の清まし汁
			えびしゅうまい
			キャベツ大葉の浅漬
9月	9/12	昼食 (敬老の日行事食)	赤飯・清まし汁
			刺身・天ぷら
			いかと里芋の煮物
			茶碗蒸し・オレンジ
		15時	上生菓子又はケーキ
	9/23	15時	おはぎ
10月	10/23	昼食 (ふるさとまつり)	赤飯、寿司
			豚汁
			ピザ、茶碗蒸し
		15時	ロールケーキ
11月	11/20	昼食	いろどり井
			味噌汁
			抹茶ムース
	11/26	昼食	うな井
			根菜汁

			じゃが芋のおかか煮 黄桃缶
12月	12/19	昼食	海鮮丼 かきたま汁 なすのおろしあんかけ バナナ
	12/31	大晦日	えび天ぷらそば 肉じゃが 桃ムース
1月	1/1	松花堂弁当	赤飯 清まし汁 おせち盛り合わせ 筑前煮 ぎせい豆腐 茶碗蒸し・オレンジ
	1/3	昼食	海鮮丼 豚汁 キャベツ大葉の即席漬 みかん
2月	2/3	昼食	恵方巻(たまご巻) つみれ汁 大豆の炒り煮 白和え
	2/20	昼食	海鮮丼 かきたま汁 なすおろしあんかけ バナナ
3月	3/19	昼食	海鮮丼 あおさ汁 白和え・バナナ

○お誕生日食の状況

お誕生日を迎えた入居者様には、お祝い御膳や希望された食べ物やおやつなどを準備・提供し、ユニット全員でお祝いしました。皆様の心に残るお誕生日を過ごしていただきました。

うなぎ(うな丼)	5名	寿司	6名	ばらちらし寿司	1名
まぐる刺身	8名	寿司とビール	1名	天ぷら盛り合わせ	1名
まぐる刺身とビール	1名	まぐる刺身と椎茸汁	1名	釣鐘もなか	1名
中トロ刺身	1名	いなり寿司	1名	サンドイッチ	1名
いちごショートケーキ	3名	上生菓子	1名	辛いカレーライス	1名
チョコレートケーキ	2名	ゴディバチョコレート	1名	上生菓子	1名
ティラミス	4名	パンナコッタ	1名		
モンブラン	1名	ロールケーキ	1名		
プリンアラモード	3名				

総数 47名(入院等除く)

令和7年度リハビリテーション課事業報告書

(1) 個別機能訓練等実施者実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施者登録者数(入所)	45	47	45	44	45	48	49	48	45	47	48	47	
SS対象者数(非加算者)	4	2	2	2	3	2	2	1	1	1	1	1	
実施延べ人数	124	131	79	137	92	119	130	108	117	117	126	99	1379

*入所5ユニット(1ユニット定員10名)

*SS(ショートステイ)利用者は必要性発生時に対応。

(2) 日常生活関連業務実績

業務項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ADL評価	6	12	4	9	6	19	12	9	14	10	6	5	112
座位シーティング	12	6	10	5	5	13	7	11	13	9	3	5	99
臥位ポジショニング	4	7	7	11	2	2	3	12	4	9	5	11	77
車椅子・補装具等適合評価	2	11	6	10	6	5	12	17	14	12	13	10	118
生活リハビリ指示	5	8	6	6	7	7	17	10	13	15	2	6	102
在宅訪問評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
住環境評価・調整	4	5	4	6	3	6	10	2	1	7	5	11	64
疼痛・機能評価											28	42	70

*車椅子・補装具適合評価は車椅子、歩行補助具等の修理、調整。装具、靴等の貸し出し、購入、試行評価。自助具等の作成、調整、動作分析等を含む。

*2月より在宅訪問評価項目を無くし、追加で疼痛・機能評価を集計開始。